





こくさいは にほんじん ようせいの こうざ  
**国際派日本人養成講座**  
 伊勢雅臣

1999年11月11日版  
**オランダ盛衰小史**

1. **大英帝国になり損ねたオランダ**

地球史の上で、オランダは偉大な足跡を残しているのだが、それらほとんどは大英帝国によって「上書き」され、消されてしまった。

たとえば、オーストラリアはイギリスよりも一世紀前にオランダが発見し、ニューホラントと命名している。ホラントはオランダの中心的な州で、日本語の「オランダ」の語源である。

ニューゼーランドの方は、もう一つの大州ゼーラント（英語では Seeland、海の土地）からとられたオランダ名がそのまま残ったものである。

ニューアムステルダムと言われた都市もあつた。今のニューヨークである。ハドソン湾として名を残しているイギリス人探検家ハドソンは、実はオランダの東インド会社の社員として、航海に出たのである。オランダは、現在のニューヨーク付近とテラウエア州以北の北米東北部を領有していた。「1, p155」

その他、オランダは、アフリカ最南端の喜望峯から、セイロン、ジャカルタ、広東に植民地や通商拠点を置き、17世紀の世界貿易の中心を担っていた。長崎の出島はその終点なのである。

2. **住むに値しない土地**

オランダといえは、運河と風車の国というのが、大方の日本人のイメージであろう。しかしこの二つは、どかさどさか、苛烈な風土に対してオランダ人が続けてきた苦闘の象徴である。大著「オランダの興亡」の著者パーカーはオランダは「自然条件からいって人間が住むに値しない土地」だと言っている。紀元70年に、プリニウスはオランダの風土について書いている。それによると、オランダには大洋が日に二度進入して行く。

3. **勇気と自立精神**

オランダ人は長大な堤防を作ることによって、土地を確保してきた。堤防が決壊すれば壊滅的な被害を受ける。13世紀の百年間だけで、35回の大洪水があり、数十万の生命が失われたという。まさにその名の通りの Netherlands (低地国) である。この海と河口の近くの低湿地帯という不利な条件を、オランダ人は運河をはりめぐらして、海運の発達の原動力とした。

気候も苛烈である。北海からの身を切るような寒風が絶えず吹きつけている。オランダ人は何千という風車を作つて、この寒風をエネルギーに変え、排水用のみならず、製材、製粉、製紙の動力として活用した。

4. **オレンジ公ウィリアム起つ**

1555年、神聖ローマ帝国皇帝カール5世は老齢を理由に、その領土の内、スペインとオランダの統治権を子のフィリップ2世に譲ることを宣言した。当時のスペインは新大陸からの膨大な銀の流入で国力は絶頂期にあり、軍事も世界最強を誇っていた。

スペイン貴族とカトリック僧の間で、典型的な専制君主として育つたフィリップにとって、父祖の例にしたがって、オランダの諸都市と同格の立場で、権利と義務を交渉することは、我慢のならない屈辱であった。フィリップは、これらの新教徒たちを法王の敵として根絶しようと考えに至った。

1568年、フィリップが派遣したアルバ公はオランダの全住民を異端として死刑にすると布告した。事ここに至つて立ちあがったのが、オレンジ公ウィリアムであった。カール5世時代からの重臣ウィリアムはドイツの出身であったが、その妻がオランダ出身だった縁から、この地の人々に対して同情と理解を抱いていた。

5. **世界最初の自由民権宣言**

ウィリアムは先祖伝来の財産を売り払い、土地を抵当に入れて得た資金で兵を集めた。これがオランダの80年にわたる独立戦争の始まりであった。

フィリップの新政権弾圧に対して、ウィリアムは宗教的寛容に基づいた国づくりを目指したのである。さらに1581年、フィリップの忠誠廃棄宣言はこう述べている。

「我々は、人臣としての義務を放棄し、主君としての権利を回復し、父が子にすることを、牧人が羊にするように、正義と公正をもって人民を養い、保護し、統治するためにあるものである。」

6. **自由への戦い**

こうして始まったウィリアムとオランダ人民による自由への戦いであったが、勇猛なスペイン軍に対してしばしば苦戦を強いられた。ナールデンという城塞都市は、スペイン軍に包囲され、降伏を申し入れた。スペイン軍は街に入るや虐殺と略奪を行い、アルバ公はフィリップに対して、「すべての市民は喉をかき切れ、人の母から生まれた息子が生き残っている者はいない」と報告した。

こうした経験から、オランダの諸都市は決死の抵抗を行った。ハーレムの町の城壁はホラント州でも最も弱いと言われていたが、市民の一致団結した抗戦により、スペイン軍はこの町を陥とすのに、7ヶ月の間と1万2千の兵を失った。

ここから、さしものスペイン帝国もオランダの全部市を陥落させるだけの力はないのではないか、という希望がオランダ人に生まれ、抵抗の意思をますます堅くした。

7. **卑怯な商人ども**

こうして両国は運命共同体として、スペインとの80年戦争の大半をともに戦ってきたのだが、1648年にスペインとの講和が成立するや、わずか4年後には英蘭戦争が始まっている。

1584年、ウィリアムがスペインの刺客に暗殺されると、その子マウリッツ公が軍事指導者となる。マウリッツは父の志を受け継いだ名將であったが、まだ若く、政治的な実権はホラント州のアルゾフ政治家たちが握つた。オランダ商人の利益を代表するこれらの政治家たちは、スペインとの戦争よりもオランダの政治的拡大に重きを置いた。

スペインとの戦争中に、オランダは経済的躍進を遂げ、世界一の海上帝国を建設したのだが、それはオランダが金をはかるが利潤のない地上戦闘は同盟国の援助に頼り、もっぱら海上勢力を充実したからである。当時の重商主義者トーマス・マンは言う。

「オランダ人が東西両インドを征服し、その交易の果実をわれわれからむしり取っている間、われわれはオランダの防衛のために血を流しているのである。」

8. **「ペイラントの自由」の信奉者たち**

1651年、英国は、アジア、アフリカ、アメリカの産品を外国船に当時はほとんどオランダ船で輸入されてはならない、などと、オランダを狙い撃ちした航海条例を制定した。これをきつかけとして、翌年、第一次英蘭戦争が勃発する。

ブルジョワ政治家たちは、戦争の危機を叫ぶと、軍事指導者マウリッツ公を利するという判断から、事態をわざと目くじめ、英国との戦争にはならないと主張した。英国を打倒する造船能力を持ちながら、海軍増強には金を使おうとはしなかった。これら政治家も、私利私欲のためには国家全体の危機を省みないという、「ペイラントの自由」の信奉者であった。

1665年の第二次英蘭戦争の前には、すでにオランダ船200隻が拿捕されていたにも関わらず、オランダ商人は英国に大量の軍艦用資材を売りつけて倉庫を空にしていたという。これまた「ペイラントの自由」である。

政敵を利すまいと国家の危機にも目をむける政治家と、儲けのためには、敵国にも資材を売る商人たちと、国中に「ペイラントの自由」の信奉者がはびこっては、さしもの経済大国オランダにも勝ち目はなかった。

英国は西アフリカや北アメリカのオランダ植民地を次々と奪取していった。ニューアムステルダムが、ニューヨークとなったのも、この時である。これを契機にオランダの海上覇権も失われ、世界貿易の中心はアムステルダムからロンドンに移っていく。

9. **二つの自由**

なぜ、オランダは繁栄したが、それは自由があったからだ。

17世紀の最盛期に生きたスピノザの言葉である「2, p101」。

オランダは、オレンジ公ウィリアムの私心なき自由への志を中心に結束して独立と自由を勝ち取り、繁栄を実現した。

しかし、その後は「ペイラントの自由」を振りまわす商人やブルジョワ政治家が、同盟国イギリスを怒らせ、国内の分裂抗争から、急速な衰退を招いた。「オレンジ公の自由」がオランダの独立と興隆を築き、「ペイラントの自由」が分裂と衰退をもたらした。自由にもこの二つの種類があること、そして国家の命運はそれらに大きく左右されることをオランダの盛衰史は教えている。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最奇りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

が、どのような大敵でも戦って、負ければ自沈した。「戦史は降伏するよりも自沈したオランダ船の記録に満ちている」とパーカーは記している。

このような勇戦ぶりを見た英国は、オランダの要請に応じて、援軍を送る。スペインは英国の援軍に無敵艦隊を編成して、オランダを攻撃している軍の精鋭6千を載せようとした。

ところが、オランダ船150隻があらゆる水路を封鎖して、スペイン軍の移動を許さなかった。無敵艦隊がむなしく待っている間に、英国艦隊が奇襲攻撃をしかけ、大損害を与えたのである。パーカーは次のように述べる。

オランダ人の決意と、これを実行する能力がなかったならば、バルム公(注:当時のスペイン軍司令官)は英国を征服し、ローマ・カトリックは世界を征服していたかもしれない。かくしてオランダは英国、ひいては全世界の自由のために戦ったのである。「1, p138」

英国人は繰り返し同じ疑問を持った。われわれのように強く勇敢な国民が貧乏に陥り、自分達のための戦いも金を払って他国民に戦ってもらっているような卑怯な商人どもが世界の富を集めているのは、果たして正しいことなのであるか? 「1, p219」

参考文献

1. 「繁栄と衰退とオランダ史に日本が見える」、岡崎久彦、文春文庫、H11.1
2. 「街道をゆく35オランダ紀行」、司馬遼太郎、朝日新聞社、H3
3. 「オランダの自由」、伊勢雅臣、ニッケイ新聞社、H3

2. **オランダの自由**

オランダの自由は、運河と風車の国というのが、大方の日本人のイメージであろう。しかしこの二つは、どかさどさか、苛烈な風土に対してオランダ人が続けてきた苦闘の象徴である。大著「オランダの興亡」の著者パーカーはオランダは「自然条件からいって人間が住むに値しない土地」だと言っている。紀元70年に、プリニウスはオランダの風土について書いている。それによると、オランダには大洋が日に二度進入して行く。

3. **オランダの自由**

オランダの自由は、運河と風車の国というのが、大方の日本人のイメージであろう。しかしこの二つは、どかさどさか、苛烈な風土に対してオランダ人が続けてきた苦闘の象徴である。大著「オランダの興亡」の著者パーカーはオランダは「自然条件からいって人間が住むに値しない土地」だと言っている。紀元70年に、プリニウスはオランダの風土について書いている。それによると、オランダには大洋が日に二度進入して行く。

4. **オランダの自由**

オランダの自由は、運河と風車の国というのが、大方の日本人のイメージであろう。しかしこの二つは、どかさどさか、苛烈な風土に対してオランダ人が続けてきた苦闘の象徴である。大著「オランダの興亡」の著者パーカーはオランダは「自然条件からいって人間が住むに値しない土地」だと言っている。紀元70年に、プリニウスはオランダの風土について書いている。それによると、オランダには大洋が日に二度進入して行く。

5. **オランダの自由**

オランダの自由は、運河と風車の国というのが、大方の日本人のイメージであろう。しかしこの二つは、どかさどさか、苛烈な風土に対してオランダ人が続けてきた苦闘の象徴である。大著「オランダの興亡」の著者パーカーはオランダは「自然条件からいって人間が住むに値しない土地」だと言っている。紀元70年に、プリニウスはオランダの風土について書いている。それによると、オランダには大洋が日に二度進入して行く。

6. **オランダの自由**

オランダの自由は、運河と風車の国というのが、大方の日本人のイメージであろう。しかしこの二つは、どかさどさか、苛烈な風土に対してオランダ人が続けてきた苦闘の象徴である。大著「オランダの興亡」の著者パーカーはオランダは「自然条件からいって人間が住むに値しない土地」だと言っている。紀元70年に、プリニウスはオランダの風土について書いている。それによると、オランダには大洋が日に二度進入して行く。



オランダ最大の経済都市アムステルダム (Wikipedia Commons)

『日本文化』5巻まで同時購入で  
 195円が160円に  
 35%割引!

ニッケイ新聞で好評連載中の「国際派日本人養成講座」を中心に  
**日本独自の文化や歴史を**  
 日本語で紹介!

**日本文化**

日本文化1 R535.00 日本文化2 R540.00 日本文化3 R540.00 日本文化4 R540.00 日本文化5 R540.00

ニッケイ新聞大人気シリーズ!プレゼントにも!

お問い合わせ先: ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340-6060

国際派日本人養成講座作者 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ第3弾!  
**世界が称賛する日本の経営**

近年の日本企業は、欧米の株主資本主義の経営こそ最新の経営と思いつた。しかし、人間が成長する存在であることを見れば、日本の経営は、人々の社会を幸福にするための、日本の経営は、そのことに気づいて、日本の経営を再考し、進めています。

本書は、先人の足跡をたどること、そして、先人の経営とは何かを思い出し、それがどうなっているかを、日本の経営者、企業、日本国全体が活力を取り戻すことと信じています。本書より

1冊1000円  
 限定販売  
 残り30冊!

【お問い合わせ】ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340-6060  
 【郵送のご注文は日系書店まで】  
 太陽堂: (11) 3208-6588 / フォノマキ竹内書店: (11) 3104-3399 / 高野書店: (11) 3209-3313

**国際派日本人養成講座**  
 発行人=伊勢雅臣 (文責)  
 Mail: ise.masaomi@gmail.com  
 Twitter: https://twitter.com/ise\_masaomi  
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

# 平昌冬季五輪が開幕



平昌冬季五輪の開会式で、日本選手団の行進に合わせ会場に浮かび上がった「日の丸」=9日夜、韓国・平昌(共同)

## 韓国初、南北は合同行進

### 金与正氏が開会式出席

【平昌共同】開会式が開幕した。ともに過去最多となる92カ国・地域、2900人超の選手が参加。開会式では韓国と北朝鮮が、五輪では2006年トリノ冬季大会以来となる合同行進を実施。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の妹、金与正氏が出席した。同日には韓首脳会談も行われるなど、雪と氷のスポーツの祭典は国際政治情勢が強く反映された中で始まった。

アジアでは1972年札幌、98年長野に続く3度目の冬季大会で、88年にソウルで夏季大会を開催した韓国では初め、会場は大歓声に包まれた。

【平昌共同】赤や青の鮮やかな照明や、KPOPの軽やかな音楽が平昌五輪スタジアムを盛り上げる中、日本選手団は62番目で会場に登場した。その日のニッポンの旗を手に、笑顔で進行した。

## 日の丸振り、笑顔で行進

### 葛西選手ら晴れやかに

【平昌共同】赤や青の鮮やかな照明や、KPOPの軽やかな音楽が平昌五輪スタジアムを盛り上げる中、日本選手団は62番目で会場に登場した。その日のニッポンの旗を手に、笑顔で進行した。

## 揺れる統一旗に大歓声

### 選手ら笑顔で歩み進める

【平昌共同】大歓声に包まれながら、白地に青の統一旗を掲げた選手らは、3回目の挑戦で招致に成功した。開会式が始まる前、合同で入場行進し、はじめての好演技で日本は3位に進めた。会場には朝鮮半島の民謡「アリラン」が流れ、北朝鮮の女性応援団が大合唱した。

## 米軍オスプレイ部品落下か

### 沖繩、重さ1.3キロ伊計島漂着

【共同】9日午前、沖繩県うるま市の伊計島の海岸に、米海兵隊普天間飛行場(宜野湾市)に所属する輸送機オスプレイの重さ約1.3キロの部品が流れ着いているのが見つかった。政府関係者は「飛行中に落下した可能性が高い。沖繩では米軍機の部品落下や不時着トラブルが相次いでおり、県は海兵隊にオスプレイの飛行停止などを求めた。防衛省沖繩防衛局は、同機が8日午前、普天間飛行場に着陸したのを確認しており、部品が伊計島に流れ着くまでの詳細は不明。防衛省は記者団に「普天間飛行場所属機が事故が相次いでいるとして、再びこうした事故を起すことに強い憤りを禁じ得ない」と批判を示した。防衛省の中嶋浩一郎沖



沖繩県うるま市の伊計島の海岸に漂着した米軍輸送機オスプレイの部品=9日(防衛省沖繩防衛局提供)=共同

## 県は飛行停止要求

沖繩の全航空機の緊急総点検も要求した。沖繩県や県警によると、部品は縦約70センチ、横約100センチ、幅約6.5センチの半円形。9日午前9時ごろ、伊計島西側の大泊ビーチ近くの海上で浮かんでいるのをビーチの男性従業員が見つけ、砂浜に引き上げた。在沖米海兵隊は沖繩防衛局に対し、普天間飛行場所属のオスプレイの右側エンジンにある空気取り入れ口の部品だと認められた。伊計島では今年1月、普天間所属のUH1D多用ヘリコプターが島東側の海岸に不時着した。伊計自治会の玉城正則会長(61)は「沖繩の空を米軍が管理している状況を改めない限り、同じこと何回でも起きる。日本は本当に独立国家なのか」と話した。



高さ350メートルの木造超高層建築物のイメージ (共同)

【共同】住友林業は8日、2041年を目標に高さ350メートルの木造の超高層建築物を建設する構想を発表した。東京丸の内線に建設すること想定し、総工費は約6千億円。建築物の木造化による環境都市づくりを目指す。これは、高い木造建築物が現在、世界的にも見当たらないという見地から、地上70階建てで、延床面積は45万5千平方メートル、店舗のほか、

Table with 2 columns: 11日(日)のNHK and 12日(月)のNHK. It lists various news and entertainment programs with their respective times.

Table with 2 columns: 13日(火)のNHK and 14日(水)のNHK. It lists various news and entertainment programs with their respective times.

Table with 2 columns: 15日(木)のNHK and 16日(金)のNHK. It lists various news and entertainment programs with their respective times.

Table with 2 columns: 17日(土)のNHK and 18日(日)のNHK. It lists various news and entertainment programs with their respective times.

Table with 2 columns: 19日(月)のNHK and 20日(火)のNHK. It lists various news and entertainment programs with their respective times.

**Família Imperial (06/02/2018)**

# Casamento da princesa Mako é adiado

O casamento da princesa japonesa Mako e seu noivo Kei Komuro foi adiado. Ela é primogênita do príncipe e princesa Akishino, e a neta mais velha do impe-

rador Akihito e imperatriz Michiko.

Na terça-feira, a Agência da Casa Imperial anunciou que o casamento e cerimônias matrimoniais seriam adia-

dos até 2020. Esses eventos estavam programados para este ano.

A agenda apertada da família imperial, com a abdicação do imperador e a entroni-

zação do príncipe-herdeiro Naruhito, foi mencionada pela agência como motivo do adiamento.

**Japan House (08/02/2018)**

# Japan House será aberta durante os Jogos de Inverno de PyeongChang

Foram concluídos, em um espaço dos Jogos Olímpicos de Inverno de PyeongChang, preparativos de uma instalação para a promoção de atrações japonesas. Ela tem em vista a Olimpíada e Paralimpíada de Tóquio de 2020.

A “Japan House” foi apresentada à imprensa na quinta-feira. Ela foi montada no Parque Olímpico da cidade sul-coreana de Gangneung.

Uma das sete seções da instalação usa tecnologia de ponta para promover

atrações de Tóquio.

Os visitantes entram em uma cabine onde seus corpos são escaneados. Após cerca de 5 minutos, eles podem ver imagens criadas por computador de si mesmos andando pelas ruas dos distritos de Asakusa ou

Shibuya. As imagens são projetadas em uma tela de 4,5 por 12 metros.

A Japan House será aberta ao público de 9 a 25 de fevereiro e 9 a 18 de março, datas de realização da Olimpíada e Paralimpíada de PyeongChang.

**Comentário (09/02/2018)**

# Japão quer aumentar exportações de produtos alimentícios para cerca de 9 bilhões de dólares até 2019

As exportações de produtos alimentícios do Japão em 2017, incluindo agropecuários e marinhos, quebraram um recorde pelo quinto ano consecutivo. O governo do Japão planeja aumentar as exportações para o equivalente a cerca de 9 bilhões de dólares até 2019. Hoje, para o Comentário, conversamos com Chizu Hori, pesquisadora do Instituto de Pesquisa Mizuho, sobre os fatores por trás deste contínuo aumento das exportações de alimentos do Japão.

Hori diz: “As exportações de alimentos do Japão vêm aumentando pelos últimos cinco anos. Em 2017, a pesca de vieiras e outros produtos marinhos mostrou sinais de recuperação, ao passo que os principais produtos como o saquê, bebidas não alcoólicas, carne bovina e chá verde mostraram aumentos nas vendas. Frutas como morangos, uvas, pêssegos, bem como plantas de jardim e flores

de corte também registraram um aumento substancial nas vendas, numa escala muito menor.

Por trás desse contínuo crescimento está o aumento da popularidade da culinária japonesa no exterior, que resulta no aumento do número de restaurantes de comida japonesa em todo o mundo. O Ministério da Agricultura, Silvicultura e Pesca informa que o número desses restaurantes na Ásia aumentou em 50% entre 2015 e 2017. Há bem menos restaurantes japoneses nas Américas Central e do Sul e no Oriente Médio, mas o ritmo do aumento nessas regiões é impressionantemente alto, demonstrando uma maior apreciação da comida japonesa.

Em relação às frutas, subsídios do governo com o objetivo de ajudar a construir instalações voltadas às exportações parecem ter ajudado a propulsionar as vendas. Com vista na diminuição do mercado do-

méstico como resultado da queda populacional, produtores agropecuários e marinhos, bem como empresas comerciais, estão se voltando às exportações para conseguir sobreviver.

Enquanto isso, o que os produtores e processadores de alimentos, e também os serviços de entrega deveriam fazer é criar produtos adequados às necessidades dos clientes no exterior, e melhorar as redes de distribuição. Por exemplo, países da Europa proíbem a comercialização de produtos químicos utilizados em plantações de chá do Japão. Assim, torna-se imperativo cultivar plantas de chá de outra maneira para exportá-los à Europa. O mais importante é tornar os preços dos produtos acessíveis à crescente classe média em outros países da Ásia. Produtores e fornecedores japoneses tendem a enviar seus produtos individualmente, o que muitas vezes encarece os preços do

transporte. Se essas empresas comerciais conseguirem cooperar entre si em termos de cada produto ou em termos regionais, para transportar seus itens coletivamente, isso vai ajudar essas empresas a venderem seus produtos a preços bem mais em conta para clientes no exterior.

Por outro lado, o governo do Japão deveria negociar o afrouxamento das regras para a importação de produtos. Como resultado das negociações bilaterais, em dezembro, a União Europeia afrouxou restrições sobre alimentos das regiões atingidas pelo desastre nuclear de 2011 no Japão.

O governo deveria continuar convencendo outros países a afrouxarem suas restrições com base em dados científicos, para que produtos japoneses possam ser exportados para o maior número possível de países.”

**Comentário (07/02/2018)**

# Atividades econômicas conjuntas e a questão dos Territórios do Norte

No Japão, o dia 7 de fevereiro marca o “Dia dos Territórios do Norte”. O governo japonês vem pressionando para conseguir o retorno do conjunto de quatro ilhas, ora controladas pela Rússia. Segundo Tóquio, elas são parte inerente do território japonês, e nunca haviam integrado qualquer território estrangeiro antes. A Rússia, por sua vez, defende que as quatro ilhas se tornaram parte do território russo como resultado da Segunda Guerra Mundial, fato que Moscou diz ser reconhecido pelo direito internacional. Em 2016, o primeiro-ministro do Japão, Shinzo

Abe, e o presidente da Rússia, Vladimir Putin, concordaram que a promoção de atividades econômicas conjuntas nos Territórios do Norte seria um grande passo rumo à assinatura de um acordo de paz. E as negociações vêm avançando neste sentido. Mais recentemente, diálogos de nível vice ministerial administrativo foram realizados na terça-feira. Na pauta estava o planejamento de uma nova visita de japoneses ex-moradores das ilhas, para que eles possam ir aos túmulos de seus antepassados. Foi abordada também a realização de diálogos de nível de trabalho com o objetivo

de planejar um encontro de cúpula. Agora, espera-se que a reunião dos dois líderes aconteça em maio. Para falar mais sobre o assunto, vamos ouvir hoje o Comentário de Toshihiko Ueno, professor da Universidade Sofia, em Tóquio. Ueno é especialista em política russa.

Ele diz: “Os russos alegam que atividades econômicas nos Territórios do Norte precisam se conformar ao seu sistema legal. Esta posição diverge da opinião do Japão. Tóquio defende a necessidade de um marco legal especial somente para as ilhas, que não seja baseado nem na lei russa

nem na japonesa. Contudo, os russos vêm se mostrando relutantes em acatar esta alternativa. Em particular, projetos envolvendo a terra tocam em questões relacionadas ao direito de propriedade. Além disso, temas ligados a corporações e instalações perpassam questões de jurisdição. Assim, os dois países atualmente se veem em um dilema no tocante a esta questão. A Rússia trabalha dentro dos seus próprios limites administrativos e pretende levar a questão adiante nesta mesma direção.

Ainda assim, existe a possibilidade de progresso em áreas como o cultivo no oceano e o turismo marinho. Acredito que os participantes das discussões de nível de trabalho vão tentar chegar a algum consenso no que se refere a este tema, que é mais fácil



Estas notícias são produzidas pela  
NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.  
nhk.jp/portuguese

**Defesa Nacional (07/02/2018)**

# Japão apresenta protesto formal por exercícios militares russos nos Territórios do Norte

O chanceler japonês Taro Kono disse que Tóquio apresentou um protesto formal a Moscou devido aos exercícios militares ora em andamento na região da ilha de Kunashiri. A ilha é uma das quatro que compõem os chamados Territórios do Norte, reivindicados pelo Japão.

Militares russos anunciaram que os jogos de guerra vão continuar até o domingo. Mais de dois mil militares participam das simulações.

Na quarta-feira, o ministro dos Negócios Estrangeiros do Japão disse à comissão orçamentária da Câmara Baixa do parlamento que os exercícios poderiam levar a um reforço dos militares russos nas ilhas. Kono se referiu às quatro ilhas dos Territórios do Norte,

incluindo Kunashiri.

A Rússia controla as ilhas, que são reivindicadas pelo Japão.

Tóquio defende que as ilhas são parte inerente do território japonês, e que foram ocupadas ilegalmente após a Segunda Guerra Mundial.

Kono afirmou que os exercícios militares russos são incompatíveis com a posição do governo japonês.

O chanceler disse que para resolver o problema de maneira fundamental é preciso solucionar a questão territorial e assinar um tratado de paz com Moscou. Ele declarou que o governo vai continuar insistindo em negociações visando este objetivo.

**Olimpíada (09/02/2018)**

# Templo de Nagano, região central do Japão, comemora Olimpíada de 1998

Teve início na noite de quarta-feira em Nagano, região central do Japão, um evento anual de iluminação do famoso templo budista Zenkoji.

O evento comemora a Olimpíada de Inverno de Nagano de 1998. Como tributo aos Jogos Olímpicos, o prédio principal do templo foi iluminado com as cinco cores

do evento esportivo.

Lanternas decoradas com recortes de papel em formato de grou, pombos e outros símbolos da paz decoram o caminho de pedras que leva ao templo.

O evento é realizado todas as noites e vai até segunda-feira, 12 de fevereiro.

de lidar, antes da cúpula de maio.

Em março, os russos vão às urnas escolher seu presidente. Os Territórios do Norte não são uma questão que suscita grande interesse entre os eleitores. Considerando as sanções econômicas impostas pelo ocidente por causa da anexação ilegal da Crimeia, para Moscou é mais importante mostrar aos russos que mantém relações amistosas com o Japão.

Alguns especialistas te-

mem que atividades econômicas conjuntas possam servir apenas para retardar esforços visando solucionar a questão territorial. Do ponto de vista da Rússia, pode-se dizer que a questão, de certa forma, “progrediu”. Mas, para o Japão, podemos dizer que outro problema delicado acabou sendo criado antes da questão dos Territórios do Norte ser solucionada.”

Aplicativos gratuitos da **NHK WORLD**  
TV em inglês em 24 horas

**NHK WORLD TV**

\*Para iOS, Android e Amazon Fire



# カーニバルで50周年前祝い

## 「桜の地の豊かさ」

チームの主要メンバー(出典:同チームFacebook)



聖市から西北に300キロのバウルー市で10~12日の3日間、カーニバルが開催される。そこで12日に登場する地元名門エスコラ「モンダーデ・ウニダ・デ・ヴィラ・ファルコン」は、バウルー市と奈良県天理市の姉妹都市提携を祝う「TEN Riquezas na terra das cerejeiras」(桜の地の豊かさ)をテーマに行進を繰り広げる。両市は1970年に提携を結んだので、2020年に50周年を迎える。それを先取りして祝う形になる。

バウルー市は「聖州新報」が創刊された1951年に天理教のブラジル伝道所が作られ、分岐点として、邦字紙を創刊するなど、日本とはゆかりが深い土地柄だ。

同チームの前身はバウルー市で13度の優勝記録を持つ「モンダーデ・インデペンデンス・ダ・ヴィラ・ファルコン」で、1976年に設立された。2015年に解散した同チームの復活を望むファンや元チームメンバーが「モンダーデ・ウニダ」を設立。16、17年と優勝を続け今年3連覇を狙う。



今年のテーマを表す図柄(出典:同チームFacebook)

今回のカーニバルでは約550人が8つのエリア(連)に分かれ、4台の山車が出る。1台目の山車はチームの象徴である

5月にサンパウロ公演を予定している歌手の美川憲一が4日に左足首を骨折し、7日に手術を受けたと日本に報道されている。本誌紙面などで「全治2カ月、今後の予定は白紙か」と大々的に報じられ、一部の人が「ハヤブサと鳥居、2台目は招き猫と鶴、次に日本は最先端技術を表し、最後にレカント天理が出てくるぞう。」「全くにも知られておらず、本当に驚いている」と戸惑いながらも、「日本から遠い国のカーニバルで取上げてくれていると考えると光栄」と語った。

12日は午後7時15分にカーニバルのパレード開始。モンダーデ・ウニダ・デ・ヴィラ・ファルコンは2番目の出場となり、午前0時半から出場する。

「サンパウロ公演が中止になるのか」などの問合せが藤瀬圭子プロダクションなどに来ているそう。サンパウロ新聞が美川事務所に確認したところ、「報道内容はマスコミがオーディオ内容を見ただけで、本人は表現をただでいいから退院し大丈夫です」との返事。さらに美川さん本人からの伝言として、「心配しないで待っていて下さい!必ず行きますから」とのこと。すでにチケットを買った人も、これで「安心!安心!」

「ニッケイ新聞も「ライオン戦争」に参加か?!」というのはあくまで冗談だが、本紙編集部では特別に「ライオン7種」(Rua Pirapitingui, 22)で開催する。昨年度事業及び会計報告のほかに、役員改選も行われる。総会後には新年祝賀会・研修員お帰り会・行つてらっしゃい会も開催する。参加費300レ。問い合わせ・出席連絡は同県人会(11・32098・6074)まで。

ブラジル山崎文化センター(平崎靖之会長)は「定期総会」を25日午前9時半(第一次召集)から、同センター(Rua Tamandare, 800)で開催する。昨年度事業及び会計報告、今年度の事業計画案、予算案について議論する。総会後には新年親睦会が開催される。参加希望者は20日まで申し込むこと。16・17年度の会費を完納した各家庭に同センター60周年記念誌が1冊配布される。問合せ・出席連絡は同県人会(11・32075476)まで。

## しまね国際センターが指導

### JICA草の根技術協力で

JICA草の根技術協力事業の一環として、聖州カサパーバ市で実施されている環境教育推進事業のため、公益財団法人「しまね国際センター」の一行が来伯し、同市の市立小学校教員らに環境学習の指導案を提案するなどの活動を行った。

同センターはJICA草の根技術協力事業により、14年8月から17年2月まで市内のモデル校2校を対象に支援事業を実施した。昨年8月から始まった第2期同事業では、カサパーバ市の環境教育の実践力を高め、児童や市民の環境保全への理解や取り組みを向上させることを目標としている。今回の訪問には玉串和

代プロジェクトマネージャー補佐、高塚寛、長和博、佐藤仁志、専門員、福原事務局長、横田敦、コーディネーターが参加。先月末から10日までの滞在し、同市教育局長との協議や市立小学校教員を対象に研修を行った。研修は2日間に分けて行われた。約250人の地元教員を集め、環境教育の学習指導案や導入の仕方についての説明を行なった。長さんは環境教育の重要性を説明しながら「これから試験的に環境教育授業を取り入れて改善を重ね、来年2月をめどに全市立小学校で導入できれば」と語った。高塚さんは前期のモデル校の取り組みや授業改善の取り組みや、そのほか、経験豊富な環境教育の重要性、同事業の意義などを発表した。

玉串さんによると、同市教育局長は市内のモデル校2校を指導しているほか、市立小学校生徒が野外授業で遠出する時に使うバス2台を購入するなど市も協力的だそう。今回の来伯は9月頃となり、ABJICA主催のイベントで同事業を紹介する。

「サンパウロ公演が中止になるのか」などの問合せが藤瀬圭子プロダクションなどに来ているそう。サンパウロ新聞が美川事務所に確認したところ、「報道内容はマスコミがオーディオ内容を見ただけで、本人は表現をただでいいから退院し大丈夫です」との返事。さらに美川さん本人からの伝言として、「心配しないで待っていて下さい!必ず行きますから」とのこと。すでにチケットを買った人も、これで「安心!安心!」

「ニッケイ新聞も「ライオン戦争」に参加か?!」というのはあくまで冗談だが、本紙編集部では特別に「ライオン7種」(Rua Pirapitingui, 22)で開催する。昨年度事業及び会計報告のほかに、役員改選も行われる。総会後には新年祝賀会・研修員お帰り会・行つてらっしゃい会も開催する。参加費300レ。問い合わせ・出席連絡は同県人会(11・32098・6074)まで。

ブラジル山崎文化センター(平崎靖之会長)は「定期総会」を25日午前9時半(第一次召集)から、同センター(Rua Tamandare, 800)で開催する。昨年度事業及び会計報告、今年度の事業計画案、予算案について議論する。総会後には新年親睦会が開催される。参加希望者は20日まで申し込むこと。16・17年度の会費を完納した各家庭に同センター60周年記念誌が1冊配布される。問合せ・出席連絡は同県人会(11・32075476)まで。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点が多かった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点が多かった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点が多かった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点が多かった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。



左から、玉串和代、高塚寛、長和博、佐藤仁志、横田敦、福原事務局長、コーディネーター

## カサパーバ市環境教育を推進

カサパーバ市環境教育を推進する。同市教育局長との協議や市立小学校教員を対象に研修を行った。研修は2日間に分けて行われた。約250人の地元教員を集め、環境教育の学習指導案や導入の仕方についての説明を行なった。長さんは環境教育の重要性を説明しながら「これから試験的に環境教育授業を取り入れて改善を重ね、来年2月をめどに全市立小学校で導入できれば」と語った。高塚さんは前期のモデル校の取り組みや授業改善の取り組みや、そのほか、経験豊富な環境教育の重要性、同事業の意義などを発表した。

玉串さんによると、同市教育局長は市内のモデル校2校を指導しているほか、市立小学校生徒が野外授業で遠出する時に使うバス2台を購入するなど市も協力的だそう。今回の来伯は9月頃となり、ABJICA主催のイベントで同事業を紹介する。

「サンパウロ公演が中止になるのか」などの問合せが藤瀬圭子プロダクションなどに来ているそう。サンパウロ新聞が美川事務所に確認したところ、「報道内容はマスコミがオーディオ内容を見ただけで、本人は表現をただでいいから退院し大丈夫です」との返事。さらに美川さん本人からの伝言として、「心配しないで待っていて下さい!必ず行きますから」とのこと。すでにチケットを買った人も、これで「安心!安心!」

「ニッケイ新聞も「ライオン戦争」に参加か?!」というのはあくまで冗談だが、本紙編集部では特別に「ライオン7種」(Rua Pirapitingui, 22)で開催する。昨年度事業及び会計報告のほかに、役員改選も行われる。総会後には新年祝賀会・研修員お帰り会・行つてらっしゃい会も開催する。参加費300レ。問い合わせ・出席連絡は同県人会(11・32098・6074)まで。

ブラジル山崎文化センター(平崎靖之会長)は「定期総会」を25日午前9時半(第一次召集)から、同センター(Rua Tamandare, 800)で開催する。昨年度事業及び会計報告、今年度の事業計画案、予算案について議論する。総会後には新年親睦会が開催される。参加希望者は20日まで申し込むこと。16・17年度の会費を完納した各家庭に同センター60周年記念誌が1冊配布される。問合せ・出席連絡は同県人会(11・32075476)まで。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点が多かった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点が多かった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点がかった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

## 在聖総領事館 柳澤領事離任

### JH立上で尽力、再会を誓う

在聖総領事館広報文化班の柳澤領事(42)は、8日、離任挨拶のため、本紙を訪れた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点がかった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点がかった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

「伯人が求める分りやすい日本と、日本人が誇りを持て見せたい繊細さや丁寧さ、緻密さ。そこに面白みを見出してもらえるのか。今後どのような活動が多かった柳澤領事、接点がかった柳澤領事、日本から遠く離れた伯国で、日本以上に日本語が堪能に継承されている。学ぶことが多く、充実した3年間だった」と感慨深げに語った。特に、昨年5月に開館したジャン・ハウスの安定立上げに尽力。JHの成功は、立地、企画展という真新しさ、何より日系社会という土台があったと見ており、「これから3年間の職務を振り返り、日系社会への感謝を込めた。柳澤領事は、もともと建築家で、伯人妻とともに11年から15年までレシフェに在住し、建築事務所でも働いた経験もある。日本に帰国するが、今後も伯国との関係はあり続ける。日系社会の皆様には大変お世話になった。また別の形で再会できるのを楽しみにしている」と誓った。

## 山崎県人会 総会、25日

役員改選と新年会も開催。昨年度事業及び会計報告のほかに、役員改選も行われる。総会後には新年祝賀会・研修員お帰り会・行つてらっしゃい会も開催する。参加費300レ。問い合わせ・出席連絡は同県人会(11・32098・6074)まで。

## 広島県人会 定期総会

25日開催。昨年度事業及び会計報告のほかに、役員改選も行われる。総会後には新年祝賀会・研修員お帰り会・行つてらっしゃい会も開催する。参加費300レ。問い合わせ・出席連絡は同県人会(11・32098・6074)まで。

## ブラジル沖縄県人会 第81回定期総会のお知らせ

第81回定期総会を下記の通り開催しますので、会員の皆様のご出席をお願い致します。【日時】2018年2月25日(日) 第一次召集 午前9時30分 第二次召集 午前10時00分 【場所】ブラジル沖縄県人会 大サロ RUA Doutor Tomaz de Lima, 72 - Liberdade 【議題】1) 定款の変更 2018年2月10日 ブラジル沖縄県人会 会長 島袋 栄喜

## EDITAL DE CONVOCAÇÃO

A Associação Okinawa Kenjin do Brasil convoca todos os Srs. Associados a participarem da Assembleia Geral Extraordinária. Data: 25 de fevereiro de 2018 (domingo) 1ª Convocação às 17:00 hs 2ª Convocação às 17:30 hs Local: Associação Okinawa Kenjin do Brasil RUA Doutor Tomaz de Lima, 72 - Liberdade Pauta: 1) Alteração do Estatuto Social 10 de fevereiro de 2018 Associação Okinawa Kenjin do Brasil Presidente Eiki Shimabukuro

## EDITAL DE CONVOCAÇÃO

A Associação Okinawa Kenjin do Brasil convoca todos os Srs. Associados a participarem da 81ª Assembléia Geral Ordinária. Data: 25 de Fevereiro de 2018 (domingo) 1ª Convocação às 9:30 hs 2ª Convocação às 10:00 hs Local: Associação Okinawa Kenjin do Brasil Rua Dr. Tomaz de Lima, 72 - Liberdade Ordem do Dia 1) Apresentação de atividade do ano de 2017 2) Balancete do ano de 2017 3) Balancete de bolsa de estudo ano de 2017 4) Parecer do Conselho Fiscal ano de 2017 5) Escolha do Presidente da Mesa Deliberações 1) Evento Anual para ano de 2018 2) Previsão Orçamentária/2018 3) Apreciação das propostas 2018 4) Eleição dos membros do Conselho Deliberativo 2018-2019 10 de Fevereiro de 2018 Associação Okinawa Kenjin do Brasil Presidente Eiki Shimabukuro

ニッケイ新聞ウェブサイトでも! 日京社会、ブラジル社会、世界情勢etc サイトでしが見られないブラジル情報も! 最新ニュースをお届け! →有料サイトへご登録を(一部無料) www.nikkeishimbun.jp

年金 (INPS) 受取りの 手続きをいたします Fazemos Aposentadoria Fones: 3208-7803 / 3341-7308

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL 南米神宮 開運 沼矛八方被 RUA Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP Tel: (11) 5575-4783 - www.templexintoista.org.br

購読者へお知らせ 来る2月12、13日がカーニバルで休刊の為、TRANSFOLHAで新聞を受け取っておられる購読者の方は、15日(木)と17日(土)の2回配達になります。何卒ご了解の程お願い申し上げます。 ニッケイ新聞社 営業部・発送係

ブラジル沖縄県人会 特別総会のお知らせ 特別総会を下記の通り開催しますので、ご出席をお願いします。【日時】2018年2月25日(日) 第一次召集 午後17時00分 第二次召集 午後17時30分 【場所】ブラジル沖縄県人会 大サロ RUA Doutor Tomaz de Lima, 72 - Liberdade 【議題】1) 定款の変更 2018年2月10日 ブラジル沖縄県人会 会長 島袋 栄喜

EDITAL DE CONVOCAÇÃO A Associação Okinawa Kenjin do Brasil convoca todos os Srs. Associados a participarem da Assembleia Geral Extraordinária. Data: 25 de fevereiro de 2018 (domingo) 1ª Convocação às 17:00 hs 2ª Convocação às 17:30 hs Local: Associação Okinawa Kenjin do Brasil RUA Doutor Tomaz de Lima, 72 - Liberdade Pauta: 1) Alteração do Estatuto Social 10 de fevereiro de 2018 Associação Okinawa Kenjin do Brasil Presidente Eiki Shimabukuro

AVISO AOS ASSINANTES - FERIADOS DE CARNAVAL - Devido ao feriados de Carnaval não haverá a distribuição de Jornal Nikkey na terça-feira, 13/02 pela Transfolha. Excepcionalmente nessa semana serão 2 entregas: na quinta-feira, dia 15/02 e no sábado, 17/02. Agradecemos desde já a compreensão. Editora Nikkei - Depto Administrativo

EDITAL DE CONVOCAÇÃO A Associação Okinawa Kenjin do Brasil convoca todos os Srs. Associados a participarem da 81ª Assembléia Geral Ordinária. Data: 25 de Fevereiro de 2018 (domingo) 1ª Convocação às 9:30 hs 2ª Convocação às 10:00 hs Local: Associação Okinawa Kenjin do Brasil Rua Dr. Tomaz de Lima, 72 - Liberdade Ordem do Dia 1) Apresentação de atividade do ano de 2017 2) Balancete do ano de 2017 3) Balancete de bolsa de estudo ano de 2017 4) Parecer do Conselho Fiscal ano de 2017 5) Escolha do Presidente da Mesa Deliberações 1) Evento Anual para ano de 2018 2) Previsão Orçamentária/2018 3) Apreciação das propostas 2018 4) Eleição dos membros do Conselho Deliberativo 2018-2019 10 de Fevereiro de 2018 Associação Okinawa Kenjin do Brasil Presidente Eiki Shimabukuro

EDITAL DE CONVOCAÇÃO A Associação Okinawa Kenjin do Brasil convoca todos os Srs. Associados a participarem da 81ª Assembléia Geral Ordinária. Data: 25 de Fevereiro de 2018 (domingo) 1ª Convocação às 9:30 hs 2ª Convocação às 10:00 hs Local: Associação Okinawa Kenjin do Brasil Rua Dr. Tomaz de Lima, 72 - Liberdade Ordem do Dia 1) Apresentação de atividade do ano de 2017 2) Balancete do ano de 2017 3) Balancete de bolsa de estudo ano de 2017 4) Parecer do Conselho Fiscal ano de 2017 5) Escolha do Presidente da Mesa Deliberações 1) Evento Anual para ano de 2018 2) Previsão Orçamentária/2018 3) Apreciação das propostas 2018 4) Eleição dos membros do Conselho Deliberativo 2018-2019 10 de Fevereiro de 2018 Associação Okinawa Kenjin do Brasil Presidente Eiki Shimabukuro

